

サービスニュース

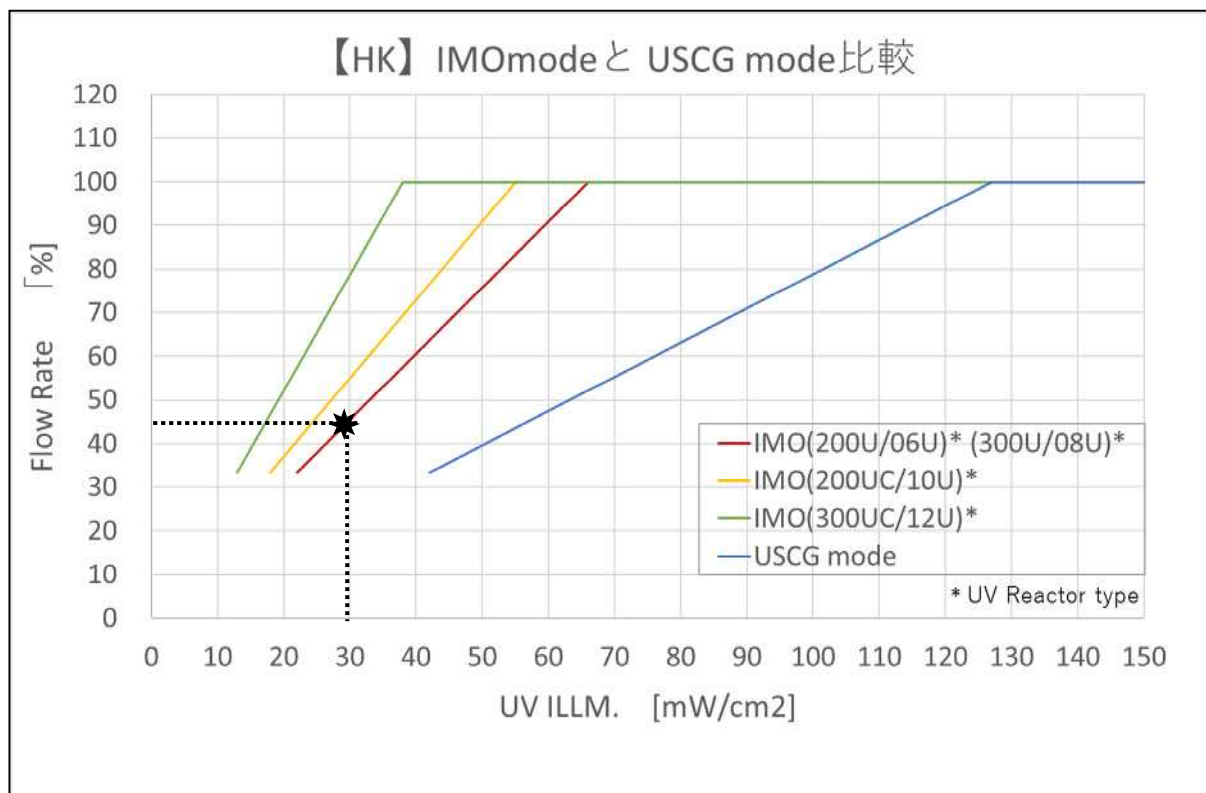
『UV Dose Lower』警報の発生を未然に防ぐために

弊社バラスト水処理装置(以下 HK)において、バラスト運転中に『UV Dose Lower』警報の発生を未然に防ぐために本船で実施いただきたい内容についてご案内いたします。

『UV Dose Lower』警報は HK 運転中の処理水量に対する UV 照射量が必要量に満たない場合に発生します。もし HK 運転中に『UV Dose Lower』警報が発生した時には、UV ランプ出力を停止した後、通水システムを維持しながら冷却運転に移行します。

その主な発生要因およびそれらに対する FAQ を以下にまとめましたのでお役立てください。

No.	現象	推定要因	対処
1	UV 電源装置の出力低下	・UV 電源出力値が 4000W に達していない	・弊社営業所へお問合せください
2	UV センサの故障	・UV センサの測定誤差 ・UV センサの有効期限超過 (有効期限 5 年間)	・UV センサの校正確認 取説-第 5 章-3.センサの校正 3.2UV センサ参照 ・UV センサの交換 取説-第 5 章-1.保守点検 1.4UV センサの掃除、交換参照
3	UV センサガラス部の汚れ、不良	・UV センサ内への水漏れ ・メーカー非純正品のガラスを使用	・UV センサガラスの掃除または交換 取説-第 5 章-1.保守点検 1.4UV センサの掃除、交換参照 ・UV センサガラスパッキンの交換 取説-第 5 章-1.保守点検 1.5UV センサガラス及びガラスパッキンの交換参照 ・メーカー純正品ガラスの使用
4	UV 保護管表面の汚れと洗浄不足	・取扱説明書に従った洗浄不足 取説-第 4 章-5.UV リアクタの 清水洗浄参照	・UV 保護管表面の洗浄 取説-第 5 章-1.保守点検 1.3UV ランプ、UV ランプ保護管の 掃除、交換参照
5	被処理水の UV 透過率が低い	・下図の UV 照度－処理量グラフの被処理水の有効範囲を外れている	・BWMP に従いご対応ください



図の見方について

例) UV リアクタが IMO(300U/08U)仕様(グラフの赤線—)の場合、横軸の UV ILLM.(UV 照度)が 30mW/cm² の時、縦軸の Flow Rate(バラスト水処理量)を約 45%程度に調整することで、『UV Dose Lower』警報の発生を極力抑えます。

これらの不具合を未然に防ぐためにも、以下の項目について定期的な点検の実施をお願いいたします。

1. UV センサおよび UV センサガラスの掃除…6 か月毎

取説-第 5 章-1.保守点検-1.4UV センサの掃除、交換参照

2. UV リアクタ内部の弊社標準洗浄剤による洗浄…6 か月毎

3. UV センサの校正…1 年毎 **取説-第 5 章-3.センサの校正-3.2UV センサ参照**

4. UV リアクタ内部部品交換…ドック毎

5. UV センサの交換…5 年毎

※上記内容に関わらず、バラストイングする港の水質に懸念を持たれる場合は、事前にこれらの点検を実施してください。

ご不明な点がございましたら最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。

今後ともご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。